

京都大の山中伸弥教授らが開発したiPS細胞は、皮膚などの細胞に四つの遺伝子を組み込んで作る。米独チームの方法では、遺伝子は入れず、遺伝子が作るタンパク質をあらかじめ別に作ってから細胞に入れる。タンパク質をマウスiPS細胞ができたところから、

胎児の皮膚細胞に入れて約一カ月培養すると、iPS細胞になった。肝臓や心筋、神経の細胞などに分化することも確認した。また四つの遺伝子のうち、がん遺伝子を除いた三種類で作ったタンパク質を入れても、iPS細胞ができたという。

細胞膜を透過させてタンパク質を細胞の中へ入れるのは、タンパク質が大きいため通常は難しい。だが富沢一仁熊本大教授(生理学)が、末端にアルギニンというアミノ酸十一個を付けて効果的に入れる方法を開発。米独チームが使った手法を開発した富沢一仁熊本大教授(生理学)の話。細胞に遺伝子を入れる手法では、染色体への影響を完全に排除することはできない。タンパク質を直接入れるなら、心配はない。iPS細胞ができたという点ではほぼ同等と考

くなる。iPS細胞の安全面での競争はこれで決着がついたのではない。また細胞に遺伝子を導入してできるタンパク質は、大腸菌に作らせた場合と性質が違つ場合もあるが、iPS細胞ができたという点ではほぼ同等と考

校への進学を希望する県内の高校生らを対象にした進学相談会(茨城新聞社主催)が二十四日、土浦市大和町の県立南生涯学習センターで開かれ、県南地区の高校生ら約四百四十人が訪れた。相談会には、県内外から大学・短大十六校

吉野ケ里の管玉割る

滋賀の重文指定、点検中に

滋賀県立安土城考古博物館(同県安土町)は二十四日、展示のために借りていた吉野ケ里遺跡(佐賀県)出土の重要文化財のガラス管玉十数個を誤って落とし、割ったと発表した。博物館によると、二十三日午後五時半ごろ、学芸員が点検のため展示用のガラスケース

スから取り出した際、約七十粒下のじゅうたんに敷いた床に落ち、管玉は水色で長さ六・八一二粒。四十六個が糸でつながっており、うち十数個が互いにぶつかつて割れた。博物館は文化庁に報告し、破片を集めて詳しい破損状況を調べている。二十五日からの特別展で展示する予定だった。管玉を保管している佐賀県社会教育・文化財課によると、約二千年前(弥生時代中期)の管玉で、一九八九年に出土した。同課は「貴重な出土品で、非常に残念だ。詳細を早く確認したい」としている。

安全問題決着か 米独チームが使った手法を開発した富沢一仁熊本大教授(生理学)の話。細胞に遺伝子を入れる手法では、染色体への影響を完全に排除することはできない。タンパク質を直接入れるなら、心配はない。iPS細胞ができたという点ではほぼ同等と考

くなる。iPS細胞の安全面での競争はこれで決着がついたのではない。また細胞に遺伝子を導入してできるタンパク質は、大腸菌に作らせた場合と性質が違つ場合もあるが、iPS細胞ができたという点ではほぼ同等と考

万人に「危険」

査て推計

調査は東京と大阪で昨年、看護師の過労死が相次いで認定されたことを受け約一万人を対象に実施(回答率30・1%)。昨年十月の

間超の時間外労働は、裁判所が『過労死につながる過酷な勤務実態』と指摘した内容に近く、危険レベルが高い」と指摘。その上で「勤務形態

調査は東京と大阪で昨年、看護師の過労死が相次いで認定されたことを受け約一万人を対象に実施(回答率30・1%)。昨年十月の

間超の時間外労働は、裁判所が『過労死につながる過酷な勤務実態』と指摘した内容に近く、危険レベルが高い」と指摘。その上で「勤務形態

イノベーションを目標



利用したスイートソルガムを原料にしたバイオ燃料の取り組みについて話す新田洋司教授(三郷市)。

市、阿見町、酒造会社(常陸太田市)などが連携し、本年度から始まった。ワークシヨップは、農学部の新田洋司教授がイネ科のスイートソルガムを原料にしたバイオ燃料の取り組みを紹介。新田教授は「スイートソルガムは生育が早く、全国で栽培が可能。食糧生産・経済と競合せず、相当なポテンシャルを秘めた作物」と話し、耕作放棄地を利用した栽培方法などを披露した。

福島県いわき市沿岸に姿を見せ、同市の水族館アクアマリンふくしまに保護されていたオットセイが二十四日朝、死んでいるのを同館職員が確認した。オットセイは二十三日夕、同市の海岸でぐったりと横たわっていたところを水族館職員らが保護。ライ

バイオ燃料で地域活性化を

茨城大がワークシヨップ

茨城大学や県などが連携した「茨城バイオ燃料社会プロジェクト」研究会の発足を記念し、同大は二十四日、水戸市三の丸の県三の丸庁舎でワークシヨップを開いた。関係者約九十人が参加し、

バイオ燃料を生産や流通、消費を促進し、地域社会の活性化を目指す。同大の農、工両学部

バイオ燃料を生産や流通、消費を促進し、地域社会の活性化を目指す。同大の農、工両学部

いわきの海岸で人気 オットセイ死ぬ

福島のいわき市沿岸に姿

福島県いわき市沿岸に姿を見せ、同市の水族館アクアマリンふくしまに保護されていたオットセイが二十四日朝、死んでいるのを同館職員が確認した。オットセイは二十三日夕、同市の海岸でぐったりと横たわっていたところを水族館職員らが保護。ライ

県内 おくわみ

- 水戸市
- 櫻 次男(えのきと) つぎお 23日、91歳。自宅は海部町2965の1。通夜は26日午後6時から。葬儀は27日午後1時から西原の富士祭典セレモニア富士西原館。喪主は長男雄一(ゆういち)。
 - 大内 昌徳(おうちまさのり) 23日、91歳。自宅は河和田町。通夜は25日午後6時から。葬儀は26日午後1時から後1時から見川の富屋祭典セレモニアホール。喪
 - 佐々木 修(ささきおさむ) 23日、83歳。自宅は平須町。通夜は26日午後6時から。葬儀は27日午後1時から酒門町の富士祭典セレモニア富士酒門館。喪主は佐々木順一(ささきじゅんいち)。
 - 田尻 史朗(たじりしろう) 元水戸市立新莊小学校長。22日、82歳。自宅は堀町。通夜は25日午後6時から。葬儀は26日午後1時から後1時から見川の富屋祭典セレモニアホール。喪

見川セレモニアホール。喪